

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11)実用新案出願公開番号

実開平6-5482

(43)公開日 平成6年(1994)1月25日

(51)Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 2 1 D 13/00				
A 2 3 L 1/10	F			
1/48				

審査請求 未請求 請求項の数1(全 2 頁)

(21)出願番号 実願平4-35068

(22)出願日 平成4年(1992)3月26日

(71)出願人 591203783

五十川 剛二

岐阜県揖斐郡池田町六ノ井1024-2-1

(72)考案者 五十川 剛二

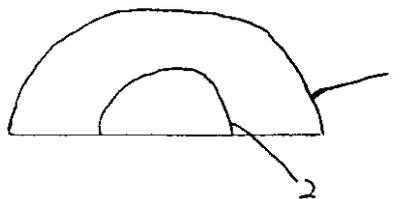
岐阜県揖斐郡池田町六之井1024-2の1

(54)【考案の名称】 おにぎりパン

(57)【要約】

[目的] パンとおにぎりの両方を食べたい時、パンとおにぎりを別々に買わずに済むためのパン。

[構成] パン1の中におにぎり2をつけ、パンとおにぎりを片手でいっしょに食べる。



(2)

実開平6 - 5482

1

2

【実用新案登録請求の範囲】

[請求項1] パン(1)におにぎり(2)を入れたパン

【図面の簡単な説明】

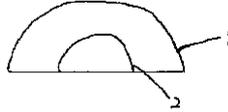
* [図1] おにぎりパンを示した断面図である。

[符号の説明]

1 パン

* 2 おにぎり

【図1】



【考案の詳細な説明】

[0 0 0 1]

[産業上の利用分野] この考案は、パンの中身に関する物である。

[0 0 0 2]

[従来技術] 従来、パンには、おにぎりが入っていなかった。

[0 0 0 3]

[考案が解決しようとする課題] したがって、パンとおにぎりの両方を食べたい時、パンとおにぎりを1つずつ買って食べていた。お金がかかった。

[0 0 0 4]

[課題を解決するための手段] 本考案を図面について説明すれば、パン1の中に、おにぎり2を入れた物である。

[0 0 0 5]

[作用] 本考案は以上のような構成であるから、パンとおにぎりをいっしょに食べる事が出来る。

[0 0 0 6]

[実施例] パンの中におにぎりが入っているので、満足感があり良い。

[0 0 0 7]

[考案の効果] すると、一つの食べ物、つまりおにぎりパンを買うだけで済み、経済的である。又、片手で、おにぎりパンを食べられるので、もう一ぼうの片手に、ジュースなどが持てて良い。一石二鳥である。